

ウォーキングパトロール隊（広島県）

活動地域

私たちウォーキングパトロール隊は、広島県の東部に位置します福山市の松永地域、JR松永駅周辺を中心に活動しております。松永地区は、福山市に合併する以前の、旧松永市当時の9町で成り立っており、福山市の西部、尾道市と隣接をしている所です。

JRの松永駅をはさんで、南北に市街地が広がっております。人口は約4万人、約1万6,000世帯の人々が生活しております。幼稚園から大学までありまして、福山大学、日本履物博物館、日本郷土玩具博物館、西部市民センター等の施設があります。松永地区は、下駄のまち、塩のまちとして栄えまして、全国的にもよく知られておりましたが、現在では塩田も無くなり、急速な宅地化が進み、旧来からの住宅に加え、新興住宅、工場、大型スーパー等が立ち並び、さまざまな人々が行き交う地域となっております。



下駄産業につきましては、全国シェアの60%を占めておりましたが、下駄とオリンピックをかけ合わせましたゲタリンピックというイベントを、毎年秋に実施しております。重さ1.5トンの下駄を引っ張りタイムを競う競技や、下駄を飛ばして飛距離を競う下駄飛ばしなど、多彩な競技で多くの住民や観光客が参加し賑わっています。

団体の概要

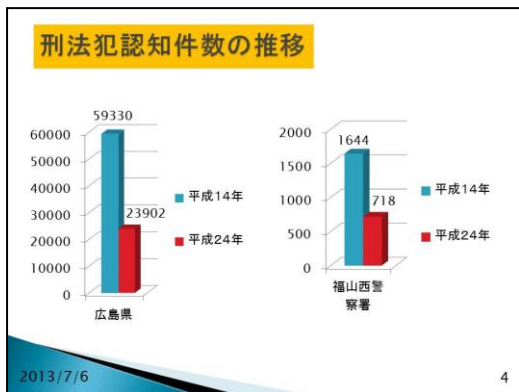
次に、ウォーキングパトロール隊の結成の経緯についてお話いたします。広島県では犯罪件数が増加し、平成14年度には、犯罪の発生がピークとなりました。犯罪件数を減少させ、安全で安心して暮らせる街とするために、広島県では平成15年から「減らそう犯罪」広島県民総ぐるみ運動を推進してきました。平成21年4月、5月の2カ月間に、広島県下の駅周辺で発生する自転車盗の被害件数を調査しました結果、松永地区にありますJR松永駅周辺が県内でワースト3となってしまいました。以前から松永では、小学校区の各自治会単位で防犯活動を行ってございましたけれども、犯罪を減少させ、安全・安心な松永地区を目指して、平成22年2月1日に、松永駅周辺の8地区の自治会が、合同で防犯ボランティア団体としてウォーキングパトロール隊を結成しました。発足当初は地域安全推進員、防犯組合連合会会員など約60人で結成をし

ウォーキングパトロール隊の結成

- 平成15年から「減らそう犯罪」県民総ぐるみ運動を推進
- JR松永駅周辺での自転車盗の被害件数が、県内で最多に
- 平成22年2月に結成
- 構成
 - ・ 駅周辺の8地区のボランティア団体で結成
 - ・ 地域安全推進員、防犯組合連合会会員等
 - ・ 約60名で発足



ました。



刑法認知件数につきましては、広島県では平成14年は5万9,330件、平成24年は2万3,902件で3万5,428件減少しています。右側の表が松永地区のある福山西警察署管内での認知件数でございます。平成14年は1,644件、平成24年718件で926件の減少をみております。減少率につきましては、広島県では59.7%、福山西警察署管内では56.3%でございます。現在、各

種防犯活動の効果で、年々減少しているところでございます。安全・安心なまちを作るためには、1点目は防犯行動が自然にとれる意識作り、2点目は犯罪が起りにくい環境作り、3点目は互いに支え合う地域作りが必要であると考えております。これを実現するために、各隊員でさまざまな知恵を出し合い、活動しております。

活動の概要

活動内容

- パトロール
8地区が交代制で、週3日間、約1時間
- 特長
 - ・ 駅前交番の専用ボックスを設置
 - ・ たすき、万歩計を備え付け
 - ・ ウォーキングを兼ねて気軽に参加できる

2013/7/6 6

次に活動内容です。8地区の自治会の防犯組合が交代でパトロールを行っております。週に3日間、約1時間行っておりますが、実施日や時間帯はパトロール隊員が防犯組合の状況に合わせてまして、臨機応変に変更しながらパトロールをしています。おおむね下校時刻に合わせてまして夕方実施をしています。松永駅の近くにある駅前交番に、ウォーキングパトロール隊の専用ボックスを設置いたしまして、たすきや万歩計を備え付けており、ウォーキングを兼ねて気軽に参加できるようにしております。服装については、防犯の帽子とジャンパー、たすきを着用しています。

活動内容

- 内容
 - ・ 住民への声かけ
 - ・ 自転車への鍵かけの呼びかけ
 - ・ 自転車の防犯診断を行う
 - ・ 鍵の掛かっていない自転車に防犯カードを貼付

2013/7/6 7

パトロール隊の主な役割や活動につきましては、住民への声掛け、自転車への鍵かけの呼びかけ、自転車の防犯診断、鍵の掛かっていない自転車への防犯カードの貼付等でございます。パトロールを始めました当初は、地域住民の方


の反応も薄かったのですが、今ではウォーキングパトロール隊の活動も多くの人に認知されまして、気軽に声を掛けて下さる人も増えてきております。

JR松永駅は、1日約9,000人が乗り降りをしており、県下でも利用人数の多い駅でございます。当然駐輪場の利用者も大変多くなってきております。松永駅は、周辺地域の多くの住民が利用しておりますので、周辺8地区の自治会の防犯組合のボランティア団体が、連携してパトロールを行うことにしました。現在では約120人のボランティアで活動しております。防犯活動というものは、すぐに結果が出るものではありませんから、粘り強く活動を継続をしているところです。

ウォーキングパトロールを行っている防犯ボランティア団体の中には、青色防犯パトロール車を運用するなど、機動力のある活動をあわせて実施しているところもありますが、私たちは駅周辺ということもありまして、パトロールとウォーキングを一緒に行うことを考えました。健康増進のウォーキングを主とし、ウォーキング目線でパトロールすることで、多くの人に気楽に気長に参加してもらうためです。そして活動内容も、地域住民への声掛けや自転車の盗難防止等をメインとしており、活動内容を絞ることできめ細かな活動を行い、住民にも理解してもらい協力をしていただいております。

8地区の防犯組合でパトロールを行っていますので、情報の共有化を行う必要があります。毎年連絡協議会を開催してパトロールの実施要領の検討、取組行事の検討、情報交換を行っています。通常では接点のない8つの地区の防犯ボランティアと活動することで、相互の連携が強化され、松永地区の情報交換ができるようになり、地域の安全・安心に大きく貢献できるようになりました。

活動内容




- ▶ ○ **連絡協議会の開催**
 - ▶ ・ 毎年度協議会を開催
 - ▶ ・ パトロールの実施要領の検討、情報交換等を行っている
- ▶ ○ **相互の連携強化**
 - ▶ ・ 8地区で結成したことで、他地区との情報交換ができ、連携が強化された

2013/7/6
9


活動の効果と今後の課題

JR松永駅周辺での、自転車盗難の被害件数につきましては、平成21年は62件、平成22年は33件、平成23年は29件、平成24年は23件、本年は現在15件で減少傾向でございます。昨年10月から今年の2月までの5カ月間では、自転車盗の被害届けが全くございませんでした。これは、パトロールの継続が、自転車盗の抑止力の効果だと思っております。

活動の成果



- ▶ ○ **被害件数の激減**
 - ▶ ・ 自転車の盗難被害件数は激減した
 - ▶ ・ 平成24年10月から平成25年2月までは被害の届け出がなかった
- ▶ ○ **地域住民との関係**
 - ▶ ・ 防犯の基本である人と人との繋がりが強くなった
 - ▶ ・ 下校中の児童が気軽に「ただいま」と声を掛けてくる




2013/7/6
10

ウォーキングパトロールを継続することで、防犯の基本である人と人とのつながりが強くなりました。下校中の児童が気軽に「ただいま」と声を掛けてくれるようになりました。

あいさつだけでなく、学校であったことや友達のことなど、いろいろと話をするようにもなりました。地域住民との関係につきまちは、ウォーキングパトロールが、地域住民とのつながりを深め、地域、自治体、警察の三者と協力をして、安全・安心を確保するというつながりができております。

活動に対して

- ▶ ○ 松永地区が安全安心な街であるとアピール
- ▶ ○ パトロール活動のPR
- ▶ ○ 会員の意識付け
 - ▶ ・ 帽子、ジャンパー、たすきの着用
 - ▶ ・ 安全・安心アカデミー等に参加
 - ▶ ・ 防犯ボランティア交流会等に参加
 - ▶ ・ 懇親会等の開催




2013/7/6 11

今後の活動についてですが、松永地区が安全で安心して暮らせるまちであることを多くの人に知ってもらいたいです。また、ウォーキングパトロール隊の活動を、もっと多くの人に知ってもらい、活動に参加をしてもらいたいと思っております。ウォーキングパトロール隊も年々、高齢化が進んできており、これからは若い人にも活動する人が増えれば、松永地区はもっと安全で安心なまちになります。そのためにも、現

在の会員の意識付けについては、安全・安心アカデミーに参加し、防犯に関する知識の高揚に努めてまいります。防犯ボランティア交流会に参加したり、懇親会を行って情報交換を図り、お互いの連携を深めています。活動をアピールするために、帽子、ジャンパー、たすきを着用しております。

今後に向けて

- ▶ ○ **活動の継続**
 - ▶ ・ 継続した防犯活動と健康増進を
 - ▶ ・ 交代制でパトロールし、無理なく、楽しく
- ▶ ○ **会員の増加を目指す**
 - ▶ ・ 高齢化による会員の減少を防ぐ
 - ▶ ・ 幅広い年齢層に参加を呼びかける
 - ▶ ・ 誰でも参加できる企画を考える
 - ▶ ・ 活動のPRを




2013/7/6 12

今後の課題についてです。防犯活動は継続して行う必要があります。交代制でパトロールをして、無理なく気軽に気長に危険なしで楽しく続けていくことが必要です。また、隊員の増加を目指しており、隊員の高齢化による減少を防ぐためにも、幅広い年齢層に参加を呼び掛けています。誰でも参加できる企画を考え、それに参加してもらい、活動のPRを行っていこうと考えております。右下のマスコットは広島県

警の防犯啓発運動のマスコットの「モシカ」です。防犯のこと、もっと、しっかり、考えようというメッセージの頭文字をとって名付けられたキャラクターでございます。「広島県人はほっとけん人」をスローガンに活動しております、松永の住民もほっとけん人です、誰もが人を思いやる気持ちを持つことが重要であると考えております。

まとめ

- ▶ ○ **特長**
 - ▶ ・ **ウォーキングとパトロールを一緒に**
 - ▶ **い、健康増進をしながら防犯活動ができる。**
 - ▶ ・ **8地区のボランティア団体が連携してパ**
 - ▶ **トロールしている。**
 - ▶ ・ **活動範囲を絞り、きめ細かな活動を心が**
 - ▶ **けている。**



2013/7/6 13

最後にまとめますと、私たちウォーキングパトロール隊の特長は、ウォーキングとパトロールを一緒に行き、健康増進をしながら防犯活動をすることです。8地区のボランティア団体が連携してパトロールをしています。活動範囲を絞り、きめ細かな活動を心がけています。以上

で、広島県福山西警察署管内松永地区のウォーキングパトロール隊の活動について、発表を終わらせていただきます。どうもご清聴ありがとうございます。

質疑応答

●質問 1組が約15人でやられているようですが、その順番制はどう決めているのか。それとこの8組で活動するとなると、高齢化した場合に減る組もあると思うのですが、そうした取りまとめを聞かせてほしいと思います。

○回答 8地区と申しますのは旧松永市が9町あったのですが、1町組織化できてないので8町で実施しております。その8町8地区が、年に3回、西警察署に集まって協議を重ねて実施方法などを検討しています。人数については、8地区の各防犯組合長さんで責任をもって参加者を増やしていただこうと考えております。

●質問 この駅前一帯の自転車の管理ですが、自転車を置くスペースそのものは十分にあるのでしょうか？ 私たちの町におきましては、駅前の駐輪場が非常に狭く混雑していて私たち自警団が指導にあたっている状態なので、その辺をお聞きしたいと思います。

○回答 松永駅周辺には、駐輪場が5カ所設置されております。駅を中心におおむね50メートル以内にあります。少ない所で100台収容、多い所では560台収容できる駐輪場がありまして、全体で1,775台収容をできるようにしております。